

指導員設置のための経費の一部を補助し、市町村の社会教育指導の充実を図る。

(2) 補助金の額

補助対象経費の3分の2以内（1人につき月額34,000円を限度とする。）

(3) 設置数

教 育 所	県 北	県 中	県 南	会 津	南会津	相 双	いわき	計
人 数	17	18	11	16	5	13	3	83

## 6 社会教育主事の市町村派遣

(1) 趣 旨

県が市町村社会教育行政を補完協力するため、市町村教育委員会の求めに応じて、社会教育主事を派遣し、市町村社会教育の振興を図る。

(2) 派遣先市町村及び社会教育主事

管 内	市 町 村 名	氏 名	派遣年度		
県 北	川 俣 町	鈴 木 実	52		
	月 舘 町	木 戸 勇	52		
	岩 代 町	半 田 三 郎	52		
	安 達 町	安 斎 将 栄	53		
	白 沢 村	渡 辺 一 弘	53		
	県 中	須 賀 川 市	小 倉 梅 雄	50	
		天 栄 村	山 野 辺 庄 吉	52	
		古 殿 町	野 口 松 男	52	
		玉 川 村	田 母 神 盛 宣	52	
		三 春 町	佐 藤 正 与	52	
浅 川 町		影 山 清	53		
小 野 町		橋 本 公 雄	53		
県 南		棚 倉 町	我 妻 秀 夫	51	
		泉 崎 村	橋 間 博	50	
		鯨 川 村	田 村 賢 一 郎	52	
	東 村	陳 野 隆 之	53		
	会 津	新 鶴 村	松 崎 栄 一	52	
		北 塩 原 村	横 山 善 補	52	
		金 山 村	深 谷 賢 一	52	
		昭 和 村	上 野 昭 男	53	
		北 会 津 村	鶴 川 義	53	
		高 郷 村	岩 原 昭 夫	52	
南 会 津		只 見 町	五 十 嵐 昭 介	50	
		伊 南 村	馬 場 淳	53	
		相 双	相 馬 市	門 馬 秀 夫	52
			飯 舘 村	鎌 田 益 美	50
	新 地 町		浜 名 光 春	52	
	檜 葉 町		佐 藤 義 光	53	
	い わ き		い わ き 市	松 本 恒 雄	52

## 7 みどり号の巡回

(1) 趣 旨

各市町村教育委員会の申請に基づき県内各地域を巡回指導し、社会教育の諸問題について研究協議することによって、市町村社会教育の振興充実を図る。

(2) 対 象

市町村社会教育関係者、成人一般、青少年、婦人及び高齢者

(3) 内 容

巡回市町村の計画による。

(4) 期日、会場、参加者数

管 内	期 日	巡 回 市 町 村	参加者数
県 北	昭和53年	川俣町、福島市、霊山町、 保原町、大玉村、二本松 市	210名
	9月5日～9月20日 10月20日～12月15日		
県 中	昭和53年	岩瀬村、長沼町、天栄村、 鏡石町	208名
	9月11日～9月14日		
県 南	昭和54年	大信村、鯨川村、矢祭町、 泉崎村	227名
	1月17日～1月19日		
会 津	昭和53年	昭和村、柳津町、高田町、 西会津町、山都町、北会 津村	286名
	7月4日～7月7日		
南会津	昭和53年	下郷村、田島町、錦岩村、 南郷村、伊南村、檜枝岐 村	232名
	6月26日～6月28日		
相 双	昭和54年	新地町、小高町、双葉町、 葛尾村	410名
	1月29日～2月1日		
いわき	昭和53年	いわき市（三和村、川前 町）	220名
	8月29日～9月1日		

## 8 社会教育職員研修派遣

(1) 昭和53年度文部省委嘱東北大学社会教育主事講習

① 目 的

社会教育法9条5の規定及び社会教育主事講習規程に基づき、社会教育主事となりうる資格を支えることを目的とする。

② 主 催

東北大学教育学部

③ 参 加 者

市町村教育委員会事務局社会教育担当受講資格者  
県内小・中・高校教員受講資格者 計42名

(2) 国立社会教育研修所専門講座

① 趣 旨

社会教育に関する専門的事項について研修を行い、社会教育関係職員の資質の向上を図る。

② 主 催

国立社会教育研修所